

自分の関心や将来の進路希望に沿って専門性を高めるために

	学びの特徴	学びの流れ・実習等
1年次	基礎的な科目を広く学び、自分の興味ある分野を発見する 「保育実践入門」「社会福祉論」「教育と発達の心理学」「総合演習」など	
2年次	保育・幼児教育の基礎的な学びを深める 「保育学基礎演習」「保育・教育制度論」「感性と表現」「子育て支援演習」など	
3年次	専門分野の学習を深化させ、自分の関心に応じた学習を進める 「教育福祉論」「子ども家庭支援論」「造形表現」「専門演習I(3年ゼミ)」など	
4年次	幅広い視座に立った専門職として活躍できる専門性を高める 「保育カンファレンス演習」「保育・教職実践演習」「専門演習II(4年ゼミ)」など	
卒業後	保育士(保育所、児童福祉施設等)、幼稚園教諭、保育教諭(幼保連携型認定こども園)など	

ユニット制を導入!“得意”を活かして子どもや家庭を支える人に

ユニット制とは、自分の興味や関心に応じて、どのような科目を履修していくことが望ましいかを示すゆるやかな学習の流れです。それぞれのユニットは独立しているのではなく、共通する科目も多くあります。2年生からは、その中でも、自分の関心に応じてどのユニットに軸を置きながら学びを深めていくのか選択します。

教育系ユニット

子どもの理解と教材研究に力を入れ、子どもの「できるようになりたい」などの成長や葛藤に応える保育のプロを育てます。

- 科目PICK UP ● 教育福祉論 ● 保育原理II  
● 保育カンファレンス演習(教育系)

支援系ユニット

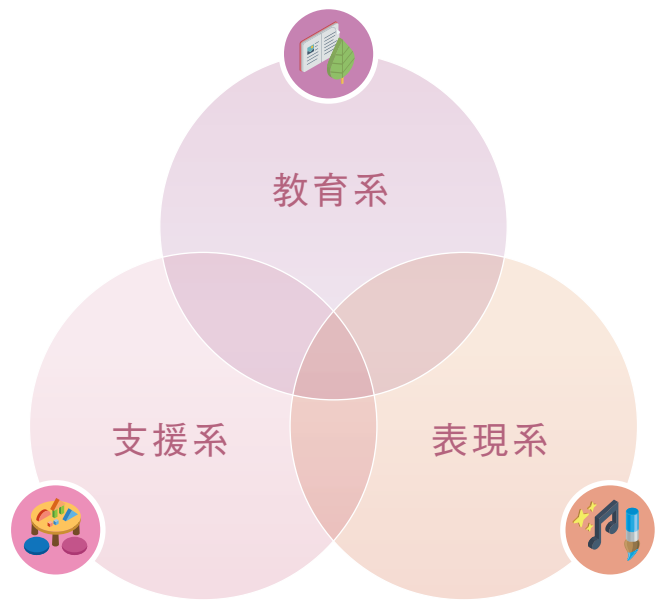
子どもの発達や子育てをめぐる社会的課題に対し、社会福祉学や心理学を含む幅広い視野から支援のあり方について考えます。

- 科目PICK UP ● 子ども家庭福祉論II ● 障害者論  
● ソーシャルワーク演習

表現系ユニット

音楽・からだ・造形分野の表現の楽しさを、理論と実践を通して学びます。子どもたちの表現を保育者として支える力を養います。

- 科目PICK UP ● 身体表現 ● 造形表現  
● 保育カンファレンス演習(表現系)



どのユニットでも  
保育士と幼稚園教諭の両資格を取得可能